



羽鳥中 学校だより

～夢・感動・感謝・誇り～（学校経営スローガン）



Vol.5

2026年9月18日発行 文責 校長 深津 礼子

夏休みが明けて2週間。大きな事故もなく、みんなが元気に学校に戻ってくれたことを、心から嬉しく思っています。

また、忙しい日々が始まりましたが、目の前のことに一つひとつ誠実に向き合い、1日1日を丁寧に重ねながら、自分らしい成長へとつなげていってほしいと思います。

学校教育目標

1. 開かれた学校教育を推進する
2. 人間尊重の心を育てる
3. 自ら学び、考え、表現する力を育てる

<文歌祭に向けて>

校長室にいと教室やコモンスペースから歌声が聞こえてきます。合唱祭に向けた練習が始まりました。今はまだ始まったばかりですが、これからの練習を通して、みなさんの歌声はどんどん美しく、上手になっていくはず。合唱は一人では完成しません。時には壁にぶつかることもあるかもしれませんが、声を掛け合い、心一つに重ねていく中で、クラスの絆をより一層深めていってほしいと思います。

そして本番のステージでは、これまでの努力の成果をすべて出し切り、全員が悔いなく最高の力を発揮できることを心から期待しています。鎌倉芸術館大ホールいっぱいに響き渡る、皆さんの歌声を楽しみにしています。

また、文化部にとっても日頃の成果を披露する舞台が近づいています。演劇部や吹奏楽部による迫力あるステージ発表、美術部・パソコン部・家庭部・科学部による創造力豊かな展示など、どの部活動も趣向を凝らした内容で、今から楽しみです。

限られた準備期間の中、仲間とアイデアを出し合い、形にしていくプロセスそのものが大きな財産になります。みなさんの発表を心から期待しています！

<「当たり前」を守るために>

1日（火）に引き取り訓練を行いました。保護者のみなさま、ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。

この夏休みから現在にかけて、全国各地で、また海外でも自然災害が続いています。7日には市内全校が臨時休校となりました。今こうして学校で落ち着いて過ごしている「当たり前の日常」は、決して当たり前のものではなく、とても貴重なものだと感じます。

夏休み明けTV放送でも話しましたが、私はこの夏、宮城県気仙沼市にある東日本大震災遺稿の伝承館を訪れました。当時の爪痕や被害の凄まじさ、そして命の尊さを伝える展示を前に胸が締めつけられる思いがしました。それと同時に強く感じたのは、「命を守る備えの大切さ」です。

災害は予告なくやってきます。だからこそ、日頃からの準備や避難場所の確認など、各自でできる防災・減災への備えを進めていきましょう。

＜夏休み中の部活動・大会＞

目標に向かって努力し、仲間と支え合いながら全力を尽くす姿は、応援する人の心を揺さぶる本当に素晴らしいものでした。

この夏に全員で培った絆や経験を大切に、新体制となるこれからの部活動でも、一人ひとりが新たな目標に向かってさらに輝いていくことを心から期待しています。

＜女子バスケットボール部＞

湘南地区大会

1 回戦 ○ 鎌倉市立玉縄中 2 回戦 ● 茅ヶ崎市立鶴嶺中
敗者復活戦 ● 大庭中

＜男子バレーボール部＞

湘南地区大会

1 回戦 ● 栄光学園

＜女子バレーボール部＞

湘南地区大会

1回戦○茅ヶ崎市立中島中 2回戦○湘洋中
準々決勝●高倉中 → ベスト8
1回戦●湘南Dガールバレーボールクラブ

県大会

＜陸上競技部＞

藤沢市中学校対抗陸上競技大会

男子：共通110mH 第5位 成田（3年）

女子：共通走高跳 第1位 田崎（2年）

共通四種競技 第8位 江頭（2年）

低学年4×100mR 第8位 江頭（2年）・松井（1年）

・河端（1年）・田崎（2年）



＜吹奏楽部＞

湘南吹奏楽コンクール 中学生の部 A部門 銀賞

< 科学部 >

ゴム動力飛行体大会 総合2位

個人の部 市販機部門
2位 松崎（3年）



＜演劇部＞

藤沢市中学校演劇発表会

育休中の昨年度顧問、中村先生自作の脚本『青春は終わらない』を熱演しました。

全日本中学校英語弁論大会ブロック予選会出場 井上（3年）

< 今月のショーケース >



美術部のみなさん



テーマは「ひまわり」。
太陽に向かって咲く花です。一
つ一つの花が元気を与えてく
れます。

お知らせ

学校では、生徒の状況を把握し理解を深めるため、年に数回アンケートや面談を行っております。

面談は担任のみにとどまらず、他の教職員が担当する場合があります。学校全体でお子様の成長をサポートしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。